

1. 事業構想評価

(1)事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

目 標	メニュー		指 標	開 始 年 度	目 標 年 度	達 成 状 況															備 考
						1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目			5年目			
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
安定供給体制の整備推進	間伐材生産		間伐材生産経費(円／㎡)の減少率	R1	R4	-	-	-	-			-			-			-			
	高性能林業機械等の整備		労働生産性(㎡／人・日)の増加率	H30		11	35	318%	12	11	92%	13	24	185%	14	89	636%	15	42	280%	
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(㎡)の増加率	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量(㎡／百万円)	R1		2	4	200%	2	4	200%	2	4	200%	2	4	200%	-			
		木造化(補助率15%以内)		H30		4	7	175%	4	7	175%	4	7	175%	4	7	175%	4	7	175%	
		木質化		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備	事業費当たりの木質バイオマス利用量(㎡／百万円)	R4		50	190	380%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		木質バイオマス供給施設整備		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
木質バイオマスエネルギー利用施設整備		-		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注)

1 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。

2 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。

3 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。

4 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。

5 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。
なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。

2. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	素材生産量(目標値)	240,000	m³	H30	304,000	m³	R5	306,000	101%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		素材生産性(目標値)	5.7	m³/人日	H30	7.2	m³/人日	R5	7.4	103%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
自立的林業経営活動の推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護	森林環境保全の推進	指導等面積の増加 (保安林指定面積)	1,058	百ha	R4(R2)	1,085	百ha	R5	1,071	99%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
マーケティング力ある林業 担い手の育成	人材の確保・育成・定着 労働安全の確保	素材生産量(目標値)	301	千m3	R4	306	千m3	R5	306	100%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		認定事業主数(目標値)	17	事業体	R4	18	事業体	R5	17	94%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		労働災害発生件数(減少率)	24	件	R4	23 (-4.2%)	件	R5	19 (-20.8%)	121% (495%)	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)	素材生産量(目標値)	301,000	m³	R4	306,000	m³	R5	306,000	100%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		素材生産性(目標値)	5.7	m³/人日	R4	6.0	m³/人日	R5	7.4	123%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
木材利用及び木材産業体 制等の整備推進	木造公共建築物等の 整備	地域材利用量(増加量・増加率)	53,000	m3	H30	67,000 (14,000) (26.4%)	m3	R5	54,000 (1,000) (1.9%)	81% (7%) (7%)	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		都道府県全体の低層公共 建築物の木造率	35	%	H30	35	%	R5	40	114%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		都道府県全体の低層公共 建築物の木造率の伸び率	85	%	H30	85	%	R5	109	128%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		都道府県及び市町村が整備す る低層公共建築物の木造率	13	%	H30	13	%	R5	6	46%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日
		都道府県及び市町村が整備する低 層公共建築物の木造率の伸び率	17	%	H30	17	%	R5	-47	-276%	R5	達成状況報告 令和6年7月31日

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械の導入により、素材生産量、素材生産性ともに向上し、目標を達成した。	導入した機械を用いた素材生産システムの更なる効率化や人材育成を進めるとともに、引続き高性能林業機械の導入を支援し、素材生産性と労働安全性の向上に取り組む。
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護	【森林環境保全の推進】 森林の持つ公益的機能が損なわれないよう、保安林を中心とした森林の巡視を行い、無許可伐採など違法行為を未然に防止することができた。	【森林環境保全の推進】 森林の公益的機能の維持増進のため、引き続き保安林を中心に巡視活動を行い、無許可伐採など違法行為を未然に防止できるよう努める。
マーケティング力ある林業担い手の育成	新たな認定事業体の育成研修等を行ったが、森林組合の合併により事業体が減少し目標達成には至らなかった。	林業事業体への指導や情報提供等により、林業認定事業体への育成を行う。
林業経営体の育成	リースによる高性能林業機械の導入支援により、素材生産量、素材生産性ともに向上し、目標を達成した。	導入した機械を用いた素材生産システムの更なる効率化や人材育成を進めるとともに、引続きリースによる高性能林業機械の導入を支援し、素材生産性と労働安全性の向上に取り組む。
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材利用の推進と需要拡大に取り組んだが、製材工場の減少や製品価格の上昇により、目標達成に至らなかった。	需給調整及び供給体制の強化を図り、木材利用の拡大に取り組む。

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。